令和7年9月2日

ふくい街角景気速報

（令和７年８月分）

調査期間　令和７年８月１９日～２６日　（回答率：９０％）

概　　況

　景気の現状判断ＤＩは５０．３となり、前月と比べ３．４ポイント上昇した。

　景気の先行き判断ＤＩは４５．６となり、前月と比べ０．５ポイント低下した。

■景気の現状判断DI　50．3　（前月比 ＋3．4　）

〇家計動向関連では、前月に比べ ３．１ ポイント上昇した。
〇企業動向関連では、前月に比べ ３．８ ポイント上昇した。
〇雇用関連では、　　前月に比べ ２．５ ポイント上昇した。

（意見の主な内容）

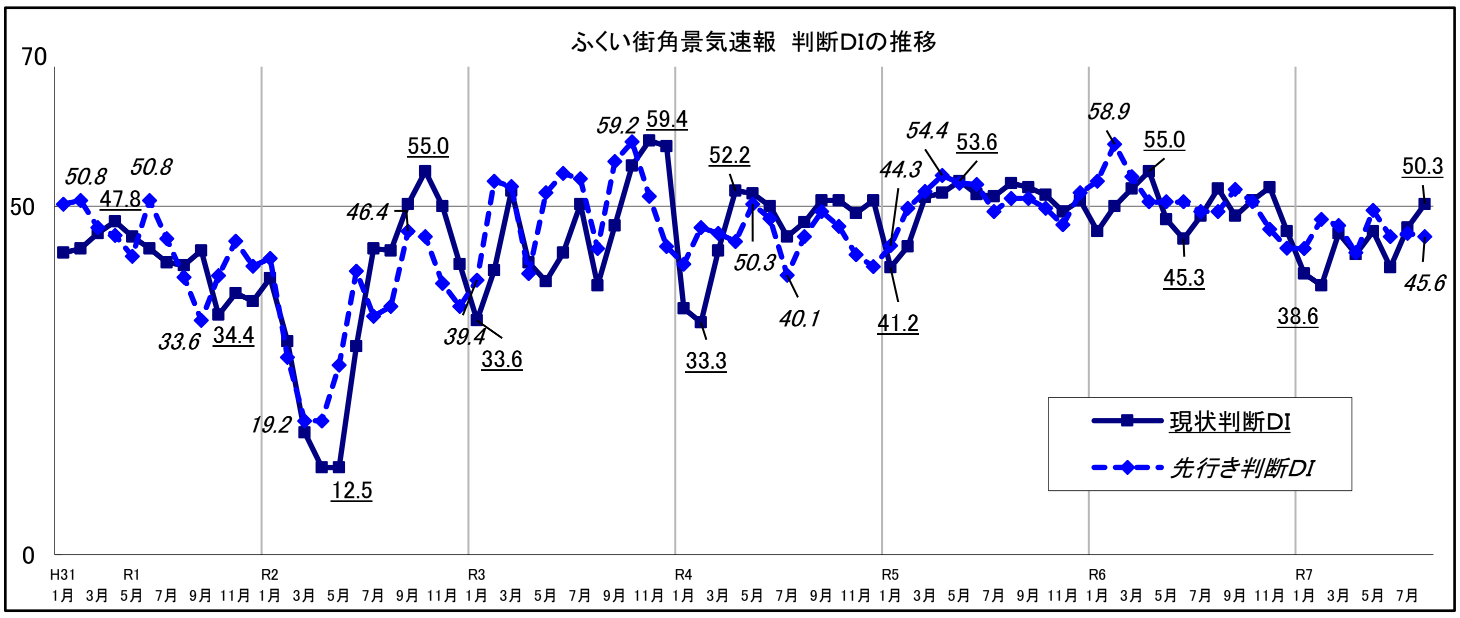
〇夏休みの観光シーズンに入り、ファミリー層の観光客が増加しており、昨年には届かないものの活況である。また、イベント開催も活発で、人流増加に寄与している。（観光関係）
〇ビジネスの季節性もあり、受注が増加している。（電気機械関連）
〇企業からは、依然、物価高・高金利の影響もあり厳しいという声を聞く。しかし、融資状況をみると、件数や融資額が例年を上回っており、企業が前向きに事業活動をしていると推察される。（自治体労働政策担当課）

■景気の先行き判断DI　45．6　（前月比 ▲0．5　）

〇家計動向関連では、前月に比べ ２．３ ポイント低下した。
〇企業動向関連では、前月に比べ ０．８ ポイント上昇した。
〇雇用関連では、　　前月に比べ ３．１ ポイント上昇した。

（意見の主な内容）

〇米国市場自体は好調で、設備投資意欲もあり、当面の間、一定数の受注が続きそう。欧州市場もドイツ以外は悪くない傾向である。国内市場は変わらない。（一般機械関係）
〇新米の値段に消費者が敏感で、食品以外への消費が減ると思われる。（一般小売店）
〇最低賃金が1,000円を超えることで、中小企業の利幅が圧迫され、今後多方面で影響が出てくると考えられる。（百貨店、SC等）



＜目次＞

調査の概要　1Ｐ
１．景気の現状判断ＤＩ　２Ｐ
２．景気の先行き判断ＤＩ　２Ｐ
３．判断理由　（１）景気の現状判断の理由　３Ｐ
　（２）景気の先行き判断の理由　４Ｐ
４．参考　（１）調査対象の構成　５Ｐ
　（２）調査票　６Ｐ

福　井　県

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

（1）調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
	計	100	52	36	12

（2）調査事項

① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

（3）調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比（%）を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0	←	５０	→	１００
悪くなっている		変わらない		良くなっている

１．景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

（DI） 年 月	R7 3	4	5	6	7	8	（前月差）
合計	**46.1**	**43.1**	**46.4**	**41.2**	**46.9**	**50.3**	＋3.4
家計動向関連	46.7	38.3	42.6	37.0	45.3	48.4	＋3.1
小売	45.8	38.4	40.0	37.5	44.5	41.7	▲2.8
飲食	65.0	25.0	45.8	25.0	45.0	70.8	＋25.8
サービス	40.9	43.8	47.7	41.7	47.7	54.5	＋6.8
企業動向関連	43.9	47.1	50.0	43.4	48.5	52.3	＋3.8
製造業	41.3	44.8	47.9	42.7	46.7	52.2	＋5.5
非製造業	50.0	52.5	56.3	45.0	52.5	52.5	＋0.0
雇用関連	50.0	50.0	52.3	52.3	50.0	52.5	＋2.5

○回答別構成比

年 月	R7 3	4	5	6	7	8	（前月差）
良くなっている	2.2%	1.1%	1.1%	1.1%	2.2%	2.2%	＋0.0
やや良くなっている	14.4%	14.4%	21.1%	9.9%	15.6%	18.9%	＋3.3
変わらない	55.6%	47.8%	43.3%	48.4%	55.6%	57.8%	＋2.2
やや悪くなっている	21.1%	28.9%	31.1%	34.1%	21.1%	20.0%	▲1.1
悪くなっている	6.7%	7.8%	3.3%	6.6%	5.6%	1.1%	▲4.5

２．景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

（DI） 年 月	R7 3	4	5	6	7	8	（前月差）
合計	**47.2**	**43.3**	**49.4**	**45.6**	**46.1**	**45.6**	▲0.5
家計動向関連	45.7	40.6	46.3	46.2	46.4	44.1	▲2.3
小売	44.2	41.1	44.2	44.6	45.3	42.5	▲2.8
飲食	60.0	40.0	41.7	54.2	55.0	41.7	▲13.3
サービス	43.2	39.6	54.5	45.8	45.5	50.0	＋4.5
企業動向関連	47.7	46.3	51.6	44.9	46.2	47.0	＋0.8
製造業	44.6	44.8	51.0	43.8	43.5	47.8	＋4.3
非製造業	55.0	50.0	53.1	47.5	52.5	45.0	▲7.5
雇用関連	52.3	45.5	56.8	45.5	44.4	47.5	＋3.1

○回答別構成比

年 月	R7 3	4	5	6	7	8	（前月差）
良くなる	1.1%	1.1%	2.2%	2.2%	4.4%	1.1%	▲3.3
やや良くなる	24.4%	16.7%	20.0%	16.5%	11.1%	11.1%	＋0.0
変わらない	45.6%	43.3%	53.3%	48.4%	54.4%	61.1%	＋6.7
やや悪くなる	20.0%	32.2%	22.2%	27.5%	24.4%	22.2%	▲2.2
悪くなる	8.9%	6.7%	2.2%	5.5%	5.6%	4.4%	▲1.2

３．判断理由

（１）景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計動向	嶺南	飲食関連	夏休み観光での観光客が沢山いる。年々外国人が増加していると感じる。
②やや良くなっている	家計動向	福井	飲食関連	片町に出てくる方が増えている。県外（特に関東）からの方が多くなってきている。
		奥越	飲食関連	夏休みで帰省される方が多いから。
		福井	観光関係	夏休みの観光シーズンに入り、ファミリー層の観光客が増加しており、昨年には届かないものの活況である。また、イベント開催も活発で、人流増加に寄与している。
	企業動向	福井	一般機械関連	米国の関税政策も落ち着いてきたので、先行き不安が解消されつつある。
		福井	銀行等金融関連	製造業や観光業は回復傾向にあり、再生可能エネルギー関連産業も成長がみられる。ただし、人口減少や物価上昇などの課題も依然として存在するため、大幅な改善とは言えない状況。
		丹南	電気機械関連	ビジネスの季節性もあり、受注が増加している。
③変わらない	家計動向	福井	一般小売店	購入目的を持っての来店客が少ない。
		嶺南	一般小売店	物価高と気温が高くお客様のご来店が少ない。
		福井	百貨店、SC等	お盆週は、動員・催事の影響もあり前年より伸長したが、お盆後からは節約志向。日常のグロサリーの落ち込みは少ないが、特に生鮮・惣菜系で節約志向に戻っている。例年、暑さが厳しいと惣菜が売れるが、それもない。
		嶺南	スーパー	お盆の売上げが前年度と変わらない。
		坂井	観光物産関係	今月は繁忙時期だが、思っていたより商品の動きが良くない。
	企業動向	坂井	繊維関連	国内外共に好転しているような状況は見られない。各分野で価格改正の動きは続いている。
		福井	眼鏡関連	良い兆しは見えない。
		福井	化学・プラスチック関連	受注状況が増えてこない。
		嶺南	商社	物価上昇に賃金が追いつかない。
		福井	銀行等金融関連	猛暑による季節性の需要がある一方、あまりの暑さに外出自体を控える動きも見られる。
		丹南	建設・不動産関連	非住宅の受注が増えてきたが、個人消費は増えていないと考えられる。
		福井	運輸関連	企業間物流の物量に大きな変化なし。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	企業からは、依然、物価高・高金利の影響もあり厳しいという声を聞く。しかし、融資状況をみると、件数や融資額が例年を上回っており、企業が前向きに事業活動をしていると推察される。
		嶺南	学校就職担当者	業界によっては、新卒求人が多く充足しない企業もあるため。
④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	商店街	これほど暑いと、よほどのことが無い限り、昼間の外出がないように思われる。
		福井	百貨店、SC等	猛暑で一時低迷した客数も、街の祭りや催事などで集客増となるが、主力の衣料品には影響なし。お出かけ需要拡大との報道から期待したが、バッグや靴などのトラベル雑貨も低迷。顧客購買視点が大きく変化し、対応に苦慮している。
		福井	百貨店、SC等	物価は高止まりで落ち着いてきたが、引き続き、必要最低限の商品から買われるといった状況は変わらず、財布のひもが固い。
		坂井	スーパー	旧盆商戦の時期であるが、大雨や高すぎる気温等で外出意欲は高くなく、消費意欲も高くなかった印象。
	企業動向	丹南	電気機械関連	水道光熱費などの経費や、一部原材料の値上げなど、利益を押し下げる要因が多いため。
		坂井	IT関連	受注額の推移から判断。

（２）景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなる	家計動向	福井	商店街	ふくトクお買物券の取り組みが順次実施されていくため。
②やや良くなる	家計動向	坂井	観光関係	秋の行楽シーズンに入るため。
②やや良くなる	企業動向	福井	一般機械関連	米国市場自体は好調で、設備投資意欲もあり、当面の間、一定数の受注が続きそう。欧州市場もドイツ以外は悪くない傾向である。国内市場は変わらない。
②やや良くなる	企業動向	嶺南	その他製造関連	公共事業の発注増のため。
②やや良くなる	企業動向	福井	銀行等金融関連	秋の行楽シーズンや製造業の回復により、現在よりもやや良くなると予想。ただし、物価動向や世界経済の変動により、大幅な改善は見込みにくい状況。
②やや良くなる	企業動向	福井	建設・不動産関連	トランプ関税の決着が見えてきたため。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	秋冬衣料品は、顧客視点（価値観）の変化と複数購入の減少で、ピンポイント（１点豪華主義）の購入が増える見込み。客単価が減少し、数年前の購買行動に戻るが、商品単価の高騰により大幅には落ちないと予測。
③変わらない	家計動向	丹南	百貨店、SC等	物価高、燃料高、自然災害や温暖化の影響、トランプ関税、日常生活における不安要素は、挙げればキリがなく、節約志向の風向きが変わるような施策や生活環境の変化の狼煙が現時点では見えないから。
③変わらない	家計動向	坂井	観光物産関係	昨年よりも今年は毎月商品の動きが鈍いから。
③変わらない	家計動向	福井	観光関係	秋の行楽シーズンに向けて販促活動を行っており、反応は良好。予約状況も良く動いており、宿泊は好調である。しかしながら、宴会などの催事については、昨年のようなイベントが少なく、まだ動きが鈍い。
③変わらない	企業動向	坂井	繊維関連	海外市場の動きも鈍く、引き続き厳しい見込み。先行きに関しても不透明な状況が続いている。
③変わらない	企業動向	福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、輸出向けで欧州等多くの地域の景気減速と在庫調整による受注減少がしばらく続いていたが、若干回復の兆しが見えている。ただし、米関税の影響が不透明である。
③変わらない	企業動向	奥越	電気機械関連	受注見込みが現状と変わらないため。
③変わらない	企業動向	福井	化学・プラスチック関連	建設資材費の高騰で新しい病院の建設が少ないため。
③変わらない	企業動向	福井	IT関連	当面の受注見通しを基に判断。
③変わらない	雇用	坂井	自治体労働政策担当課	物価は上がったが、それに伴って賃金が上がったわけではなく、支出のトリガーがない。
③変わらない	雇用	丹南	労働相談員	労働組合のない会社からの相談が依然多いものの、労働組合のある会社からも「組合に相談しても何ら対応してくれない」という声が聞かれる。
③変わらない	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	今年６月の新規学卒統計によると、高校生向けの求人が減少しているが、これは小売業の求人減少によるものとのこと。北陸新幹線の開業効果が一段落した影響かもしれず、今後の動向を注視していきたい。
④やや悪くなる	家計動向	嶺南	一般小売店	新米の値段に消費者が敏感で、食品以外への消費が減ると思われる。
④やや悪くなる	家計動向	福井	百貨店、SC等	最低賃金が1,000円を超えることで、中小企業の利幅が圧迫され、今後多方面で影響が出てくると考えられる。
④やや悪くなる	家計動向	坂井	スーパー	新米が出る時期であるが、期待されていたほど価格の低下は見込めず、むしろ高くなる可能性すらあり、節約意識が高くなるのではないか。
④やや悪くなる	家計動向	嶺南	コンビニエンスストア	レジャーや観光のお客様が少なくなるため。
④やや悪くなる	家計動向	奥越	飲食関連	夏休みが終わるから。
④やや悪くなる	家計動向	福井	飲食関連	人口減、物価高、人件費高騰を覆せるイベントがない。良くなる理由がない。
④やや悪くなる	企業動向	丹南	電気機械関連	製品への価格転嫁は簡単にはできない中、経費や原材料の上昇、為替の変動など不確実性が高い懸念点が多いため。
④やや悪くなる	企業動向	坂井	IT関連	受注見込み額の推移。
④やや悪くなる	企業動向	福井	銀行等金融関連	猛暑や天候不良により、食料品価格を中心に物価が上昇し、ひいては個人消費の落ち込みが懸念される。

４．参　考

（１）調査対象の構成

調査対象			人数
家計動向関連			52
	商店街、小売店		
		商店街関係者	5
		小売店経営者・従業員	7
	百貨店、SC等		
		店長・売場主任	10
	スーパー		
		店長・従業員	5
	家電販売店		
		経営者・店長・従業員	2
	コンビニエンスストア		
		店長・従業員	2
	観光物産関係		
		売場責任者	3
	飲食関連		
		レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
		居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
	その他サービス関連		
		サービス業経営者・従業員	4
	観光関係		
		旅館関係者	2
		ビジネスホテル関係者	2
		観光・レジャー施設関係者	1
		旅行代理店経営者・従業員等	2
		タクシー運転手	1
企業動向関連			36
	製造業経営者・従業員		
		繊維工業	4
		眼鏡工業	3
		一般機械工業	3
		電気機械工業	3
		化学・プラスチック工業	3
		鉄鋼業	2
		伝統工芸	2
		商社	2
		食料品製造業	2
		その他製造関連	2
	非製造業経営者・従業員		
		IT関連	2
		金融機関	2
		建設・不動産	3
		運輸	3
雇用関連			12
		自治体労働政策担当課	2
		労働相談員	2
		学校就職担当者	3
		ジョブステーション担当者	2
		人材派遣会社	1
		就職情報誌編集者	2
計			100

４．参　考

（２）調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状況についてご回答ください。

（企業・団体名および役職等）　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（記入者氏名）　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【質問１】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。 今月のあなたの身の回りの景気は、３か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。 次の５つの中から、お選びください。
①良くなっている　②やや良くなっている　③変わらない ④やや悪くなっている　⑤悪くなっている

【質問２】

質問１でそのように回答した理由を教えてください。
自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問３】

将来の景気についての質問です。今後２～３か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。 次の５つの中から、お選びください。
①良くなる　②やや良くなる　③変わらない　④やや悪くなる　⑤悪くなる

【質問４】

質問３でそのように回答した理由を教えてください。
自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手３丁目17－1
福井県 産業労働部 政策推進グループ
TEL　０７７６－２０－０３６４　（ダイヤルイン）